こめつつじ

２０２１年８月号

ＮＯ　482

善通寺山の会
YAMANOKAI

定例山行案内

岩トレー5

■日　程　2021 年 8 月 9 日（月・祝）
■目　的　定例　岩トレ
■場　所　坂出　大屋富ゲレンデ
■C　L
■準備会　なし（8 月 4 日水曜までに正田までご連絡ください）

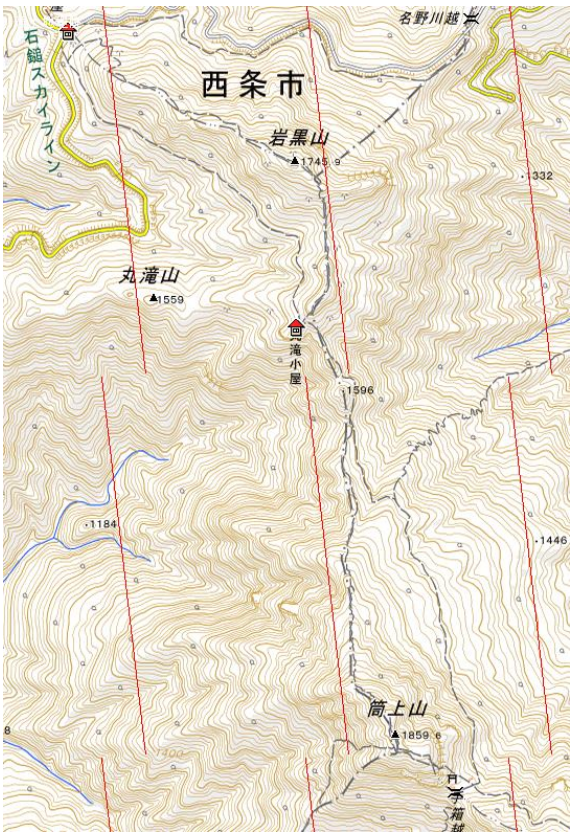
岩トレ担当ははじめてなので、経験者の方よろしくご教授くださいませ m(__)m
参加は岩トレ経験の方でおねがいします。

定例山行案内

筒上山 1859m

■日　程　2021 年 8 月 22 日（日）
■目　的　定例　筒上山
■場　所　愛媛県久万高原町
■C　L
■準備会
　2021 年 8 月 11 日（水）19:30～事務所

キレンゲショウマを見に行きましょう！



定例山行案内

三嶺 1893m～剣山 1954m縦走

■日程：2021 年 8 月 28 日（土）～29 日（日）

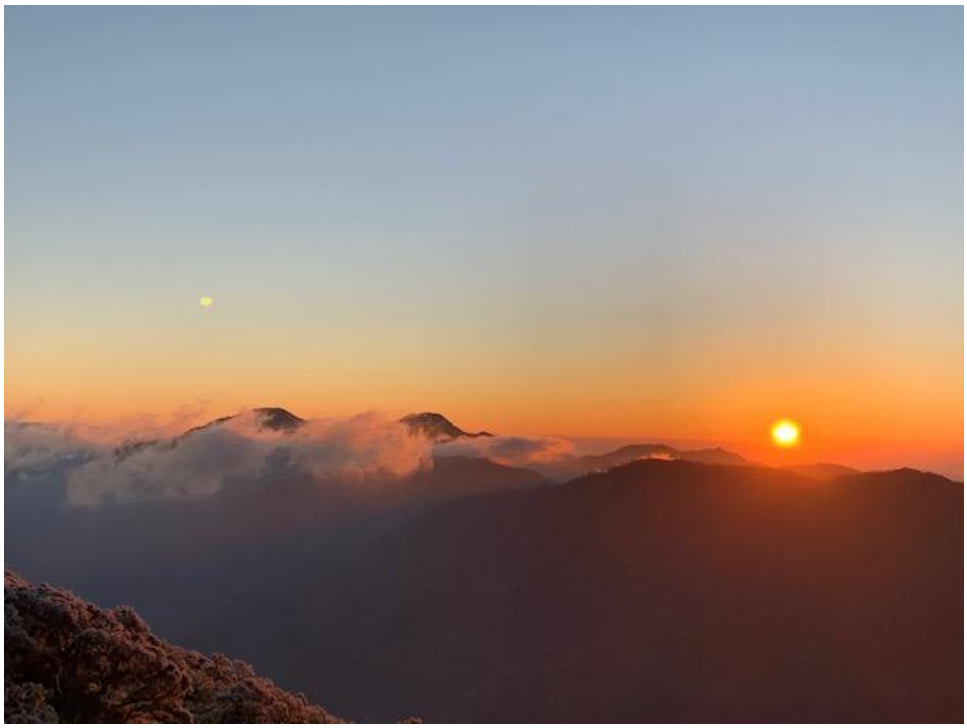
■目的：夏最後の四国の名峰を楽しむ

■場所：徳島県三好市つるぎ町　三嶺～剣山

■C　L

■準備会：8 月 16 日（月）

四国の名峰　三嶺と剣山の縦走を楽しむ。三嶺の山小屋泊を考えています。三嶺から剣山の縦走コースはなだらかで笹原の美しいコースです。晩夏の四国の山を楽しみましょう。

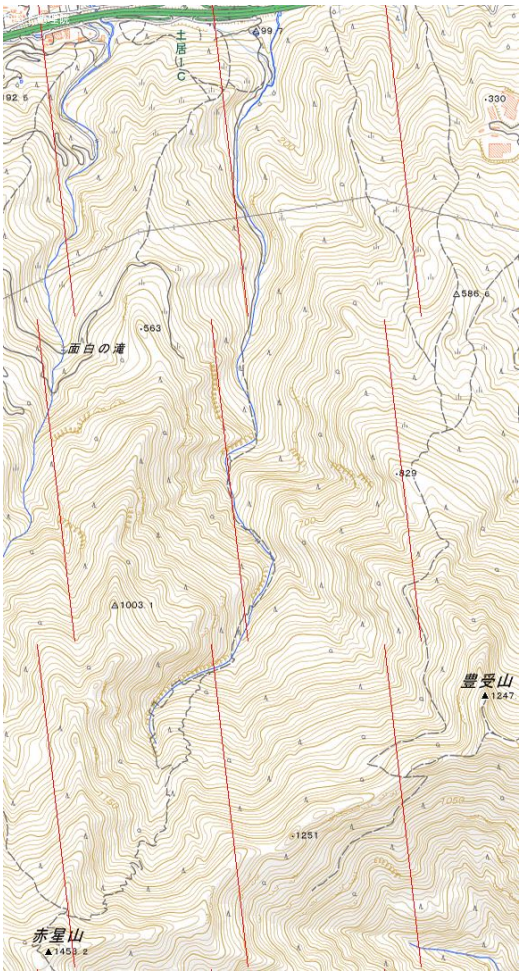


定例山行案内

L-Ⅱ　沢 皇子渓谷

◆ 日程　　２０２１年　８月２９（日）
◆ 場所　　愛媛県　四国中央市
◆ 目的　　沢登り技術の確認
◆ CL
◆ 準備会　　８月　９日（月）１８：００～　事務所にて

L-Ⅱ対象の沢登り山行です。沢登りの技術の確認をしながらの遡行にしたいと思います。アプローチが容易で撤退、下山共に登山道が並走しているルートなので遡行に集中出来ると思います。



定例山行案内

那岐山(1255m)

■日　程　2021 年 9 月 5 日（日）
■場　所　岡山県奈義市
■目　的　山頂から 360 度のパノラマを楽しむ
■C　L
■準備会　8 月 25 日（水）19:30～　山の会事務所にて

氷ノ山後山那岐山国定公園を代表する山で、山頂からの展望は素晴らしい。東から那岐山（1255m）・滝山（1197m）、爪が城（広戸仙・1110m）の那岐連邦が続き、南麓部の複合扇状地性の台地は日本原高原と呼ばれ、この地域を広く横仙（よこぜん）地方と言っている。

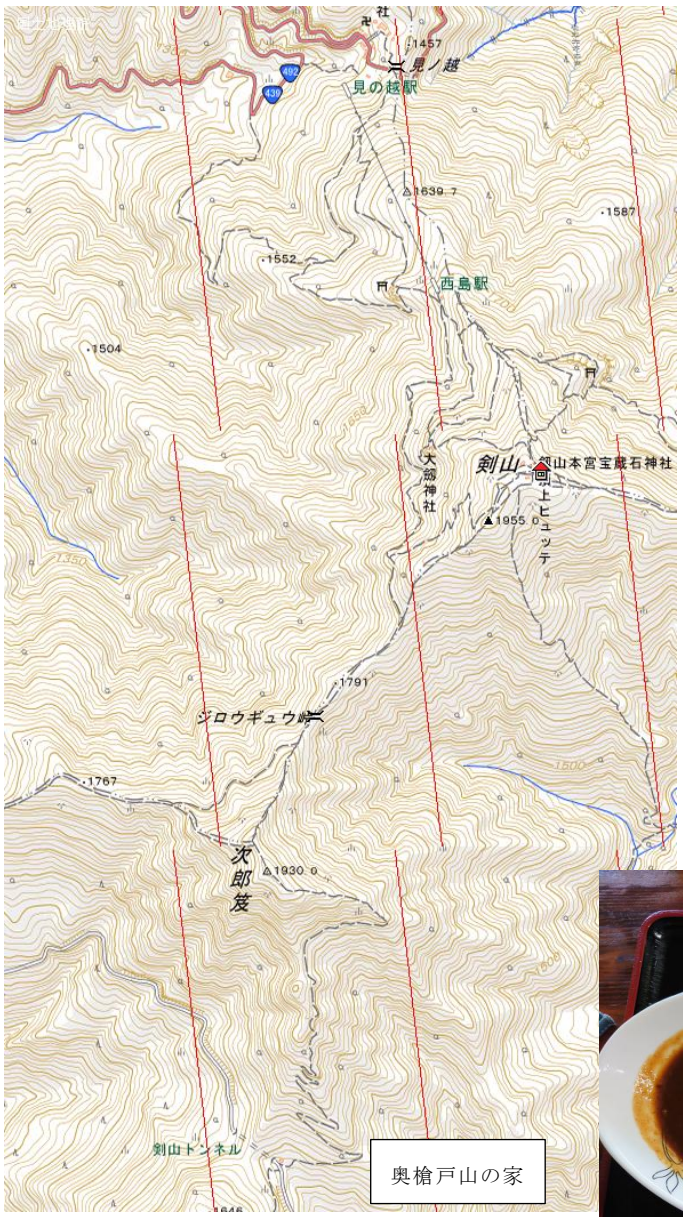
山名の由来は、昔、作東一の高峰後山（うしろやま）と背比べ（ヤマケイオンラインより）をして、負けて泣いたのでナキノセンといったのが、ナギノセンになったという地元の民話もある。また、奈義町役場から北に 15 分くらい歩いた所に、古社・なぎ神社があり、イザナギノミコトを祭ってあることからついたという説もある。

登り約 2 時間、下り約 1 時間、体力的には☆２かな？

定例山行案内

奥槍戸山の家

- ◆ 日程　　２０２１年　９月１２（日）
- ◆ 場所　　徳島県　那賀郡那賀町
- ◆ 目的　　剣山南面登山口にある山の家で食事を楽しむ
- ◆ Ｃ　Ｌ
- ◆ 準備会　　８月　２２日（月）１８：００～　事務所にて



剣山スーパー林道沿いにある山小屋で食事をしたいと思います。見ノ越から剣山、次郎笈を超えて目的地を目指します。詳細は準備会で。

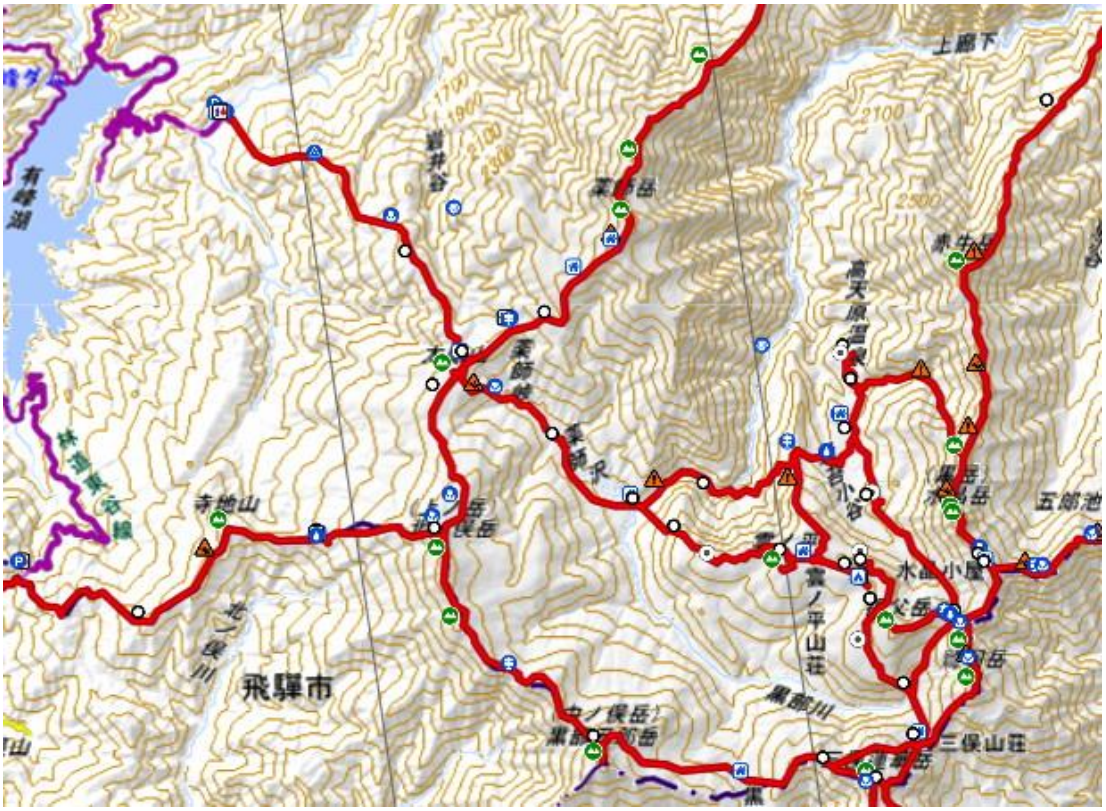
個人山行案内

雲ノ平

■実施日　8/27 金晩-8/30 月深夜
■場所　富山県立山町
■目的　涼しい高所へ行き、雲の平テントライフを楽しむ
■参加ほぼ確定者　7/13 時点で 5 人
■準備会　8/16 月　1930-

■概要案

8/27 金　善通寺 2000=若狭道北陸道＝
8/28 土　＝立山 IC=折立 P700→太郎平→1200 薬師峠キャンプ場、余力があれば薬師岳往復(３ｈ50)薬師峠キャンプ場泊
8/29 日　薬師峠キャンプ場 500→730 薬師沢→1030 雲の平山荘→1100 雲の平キャンプ場　余力があれば祖父岳往復 2ｈ10　雲の平キャンプ場泊
8/30 月　雲の平キャンプ場 430→500 雲の平山荘→730 薬師沢→1030 太郎平→1400 折立＝北陸道若狭道=2300 善通寺
備考　コロナのため 1 台に乗れる人数が制限され、運転要員が多いに越したことはない。自分の軽なら運転できる→それを使わせてということがありうる。



２０２１年度の山行・ハイキング・行事の予定です。

会報に案内を載せている以降の予定です。スケジュールに入れて参加しましょう。

月	日	定例山行・ハイキング・教育山行名	
10	2～4	燕岳	
	10	川上からの一の森	
	17	岩トレ-7	
	17	「組織拡大」剣山	
	17	歴史散策、古墳と大麻山	
	24	女性登山	
	31	L-Ⅰ,Ⅱ読図	
11	3	岩トレ-8	
	7	絶景紅葉、雨島から竜王山	
	14	クリーンハイク（五色台）	
	14	「組織拡大」女体山	
	21	歴史散策、中世山城跡と勝賀山～赤子谷	
	28	L-Ⅰ,Ⅱロープ操作２	
12	4	納山祭	
	12	歴史散策、内場城址と笠松山	
	12	岩トレ-9	
	16～19	写真展	
	18～19	大山	
	19	大相から歩く絶景の高鉢山	
	30～2	L-Ⅱ縦走（四国）	
1	9	「組織拡大」箸蔵街道	
	9	岩トレ-10	

定例山行報告

阿波竜王山 1060m周回

■日　程　　2021 年　6 月　27 日（日）
■場　所　　香川県仲多度郡まんのう町
■目　的　　香川の山を楽しむ　イワタバコの花を見に行く
■参加者　　8 名

■天　候　　くもり
■費　用　　往復走行距離 4ｋｍ　￥50／1 人
コースタイム

道の駅ことなみ第 2 駐車場集合 7：03 出発―――7：07 杉王神社 7：25・・・7：45 川上神社・・・8：25 浅木原登山口 8：40・・・9：03 分岐・・・9：25 尾根・・・9：40 阿波竜王 9：45・・・9：53 車道・・・10：15 鉄塔 10：25・・・10：40 竜王峠・・・10：45 ピーク 1012m・・・11：00 寒風峠 11：25・・・12：18 車道登山口・・・12：25 三条神社（横畑）12：45・・・13：20 杉王神社 13：28―――13：35 道の駅ことなみ　　反省会後解散

梅雨シーズン真最中、予定は雨。しかし当日雨は降りそうで降らず、晴れ男・晴れ女の力で幸い雨具は着用することは無かった。

道の駅に集合してそこから車 3 台に乗り合わせ杉王神社に向かう。杉王神社はその名の通り樹齢 800 年、高さが 50ｍもある大きな杉の木がある。昔は杉の木の根っこの部分に空洞があり子供が 25 人も入れたそうです。今は地面を嵩上げしており小さな穴があるのみです。ここでトイレ、体操をして出発。

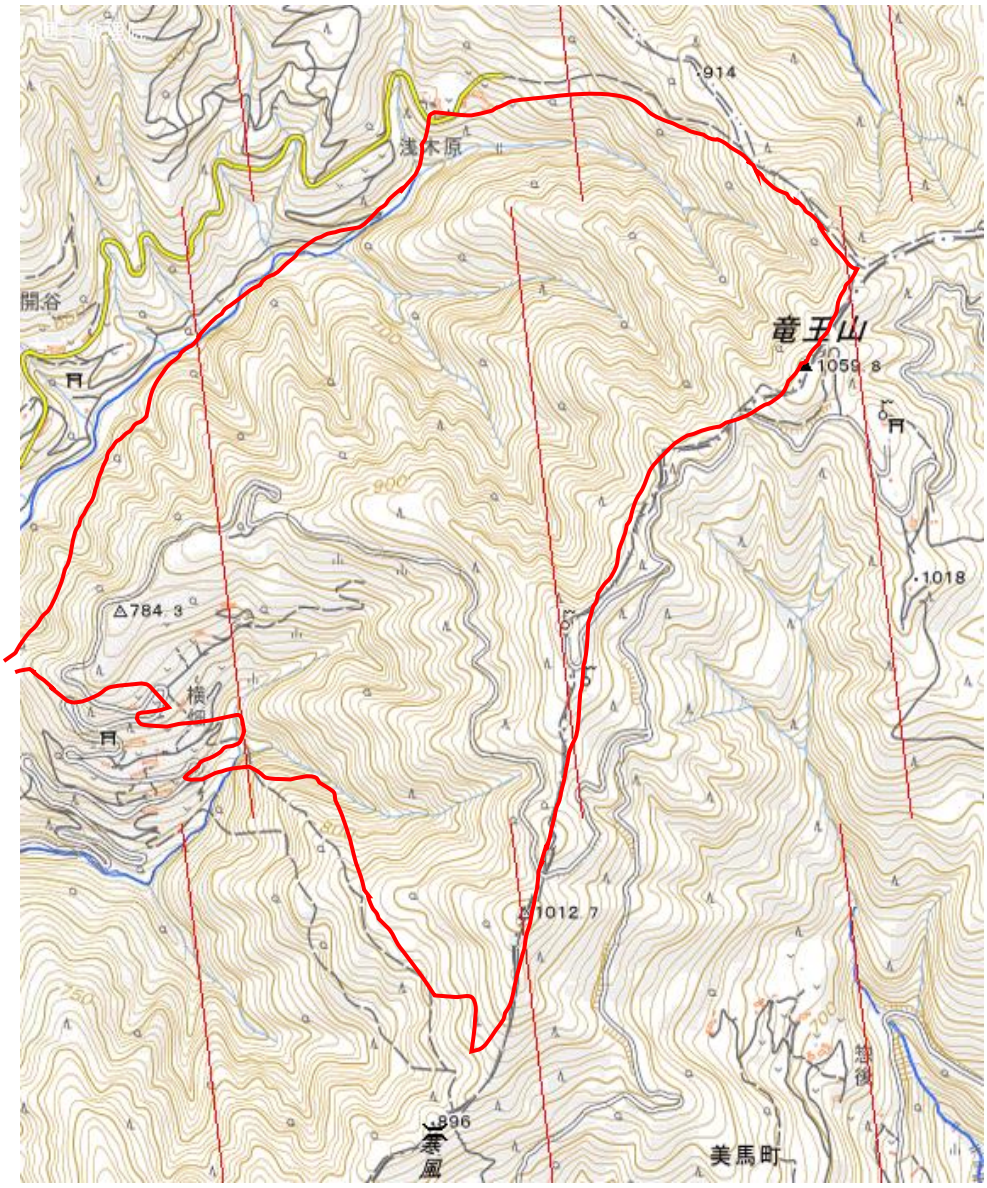
しばらくは車道歩き川上神社に着いた。ここも高さが 25ｍのホオノキがある。浅木原の登山口で少し休憩。歩きながら花に詳しいメンバーよりキツリフネ、トラノオ、夏椿（沙羅双樹）など教えてもらう。

登山口から少し進んだところからは急な登りのところもあった。竜王山の尾根へ出るとなだらかな登山道で阿波竜王の三角点を確認。今回は讃岐竜王へは行かず竜王峠へ向かう。途中鉄塔があり 4 月に行った大川山～竜王山の縦走を思い出した。

歩きごたえのある充実した山行だった。今回の山行は休憩も度々とり、ペースも良かったので蒸し暑かったけれどそれ程疲れなかった。

寒風越で昼食、ここはやはり名前の通りじっとしていると寒くなってくる。休憩後、横畑方面に下っていく。車道に下り少し歩くと三条神社と集落があり、キャベツ畑があった。大きくておいしそうなキャベツが沢山育っていた。横畑は平家の落人伝説が残る集落とのこと。そこから杉王神社まで車道を歩いた。途中ショートカット出来る登山道もあったが草が茫々で、蛇が出てきたら恐ろしいので利用しなかった。二つ目の目的イワタバコを見に行くは、花がまだ咲いていないとのことで久保田行きは中止した。

ことなみの駐車場で反省会をして解散した。



定例山行報告

大座礼山 1587.5m

■日　程　　2021 年　7 月　4 日（日）　曇り時々雨
■場　所　　高知県　大川村
■目　的　　ブナの巨木に会いに行く
■参加者　　10 名

■費　用　　走行距離　206ｋｍ　1950 円/人

コースタイム

事務所 5：55＝＝（三島川之江 IC＝法皇トンネル）＝＝7：30 大座礼山登山口 P　7：55……9：25 井野川越……上池跡地……10：08 大座礼山山頂……11：10 井野川越……12：30 登山口 12：50＝＝（R439＝R32＝新猪鼻トンネル）＝＝15：50 事務所

梅雨らしい天気、熱海の大土石流の被害を心配しながら出発。登山口でぱらつく雨にカッパは着たがすぐ脱いだ。沢を見下ろしながら、急斜面を登っていくと次第にほどよい登りになったが、滑りやすい石や木の根が多くて慎重に歩かなくてはならない。

渡渉 1 回、木の橋 2 回渡って、トラバースの道は大北川源流と看板もついて、沢の流れる音と時折聞こえる鳥のさえずり、わずかに風もあって、気温は樹林帯で低めだし、これでお天気さえよければ最高だろうと思う。

井野川越で稜線に到達し、ブナの大木が目に入るようになった。木の柵やロープで保護された姿は痛々しいというか、霧でよく見えない。枯れてしまって、次のいのちに自らの身を分け与えている大木も多い。途中、上池跡に立ち寄った。霧が深く、上池というのは神池ではないかと思ったほど、神秘的だ。カメラマンが 1 人先客でおられる、何を撮影されているのだろうか。

山頂では展望なく（霧のためかも）昼食後

下山。足元の滑りやすい場所は全集中で全員事故無く下山した。見たかったお花もあったり、小さな地味なランも見つけたりして嬉しかったが、暗すぎて証拠写真にもならない。樹林帯や緑のトンネル、またいつか、お天気の良い日に再訪したい。

定例山行報告

高瀑(たかたる)

■日　程　　2021 年　7 月　11 日(日)、くもり時々晴れ
■場　所　　愛媛県西条市
■目　的　　四国の名瀑、高瀑を見る
■参加者　　8 名

■費　用　　走行距離：214ｋｍ、高速：片道 2100 円、4200 円/人

コースタイム

事務所 5：45＝＝＝いよ西条＝＝＝7：40 通行止め標識前 8：00……
9：55 十ヶ峠トンネル……10：30 高瀑登山口駐車場 10：45……12：30 高瀑 12：55……15：00 高瀑登山口駐車場……15：30 十ヶ峠トンネル……16：55 通行止め標識前＝＝＝いよ西条＝＝＝19：05 事務所

石鎚山の麓、アクセスが困難な山中にあるため、簡単に見ることができない名瀑『高瀑の滝』へ。雨の心配はなさそうだが、諸事情で事務所出発時間が遅れた。

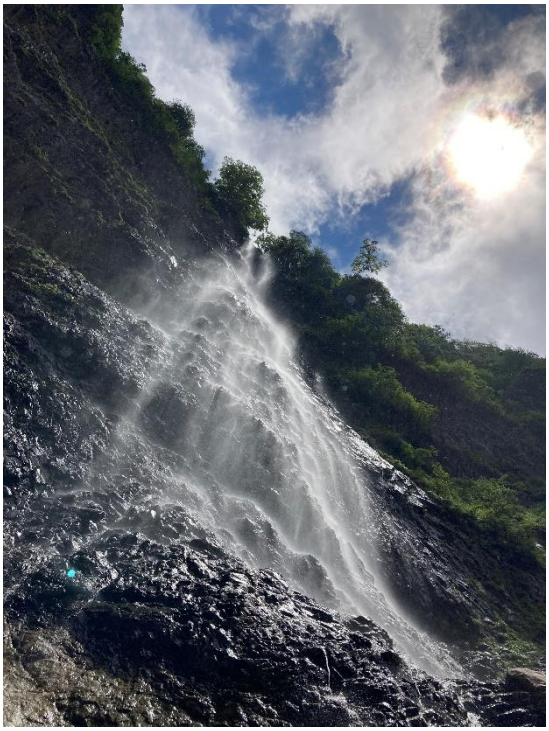
諏訪神社付近で舗装道が終わり、悪路の林道が始まる。車 2 台に乗り合わせて通行止め(石鎚林道は道路陥没により通行不可)標識前のスペースに駐車する。車のドアを開けると、ずんぐりした銭形模様のヘビがおり、マムシと教えてもらう。

高瀑登山口駐車場を目指し林道歩きスタート。沢と並行して歩いて行くと、道路の陥没や落石が見られた。地図上に線路の様な縫合跡の様な表記があり崖だと分かる。

素掘りの十ヶ峠(とうがたけ)トンネルは風情があり、風が通りひんやり涼しい。

林道歩きから 2 時間 30 分、ようやく高瀑登山口に到着。トイレがあるがとても使えそうにない。

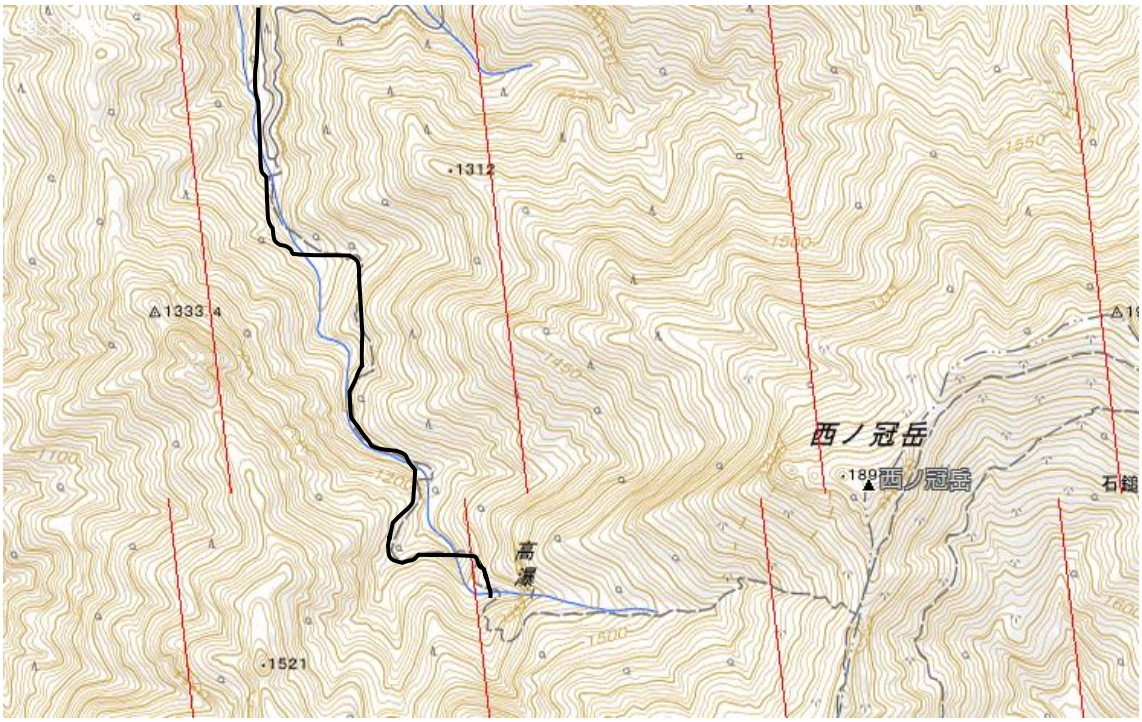
滝へ向け歩き始めてすぐ、白色のホタルブクロがたくさん咲いていた。沢を渡る。赤ノベラという滑らかな渓谷はつるりと滑りそう。登山道は荒れており、朽ちた丸太橋は心許なく、ハシゴは直角に立っている。案内板には 1 時間で滝に着くと書かれていたが着かない。滝が遠くからでも見えないものかと思っていたが、ここまで来たからには絶対に見たい。



タイムリミットの 12：30、滝に到着。落差 132m、寝転んで滝を見上げてみる。途中しんどかったが来られた。水量は少ない。

1 人が下り途中で足がつり、芍薬甘草湯を内服の上、OS－1、塩タブレット等を補給し、荷物を分け合って対処する。林道途中からショートカットルートで下り時間短縮。

個人的には体力不足と体幹バランスの悪さを思い知らされた。



定例山行初級沢報告

面河本谷改め面河尾根

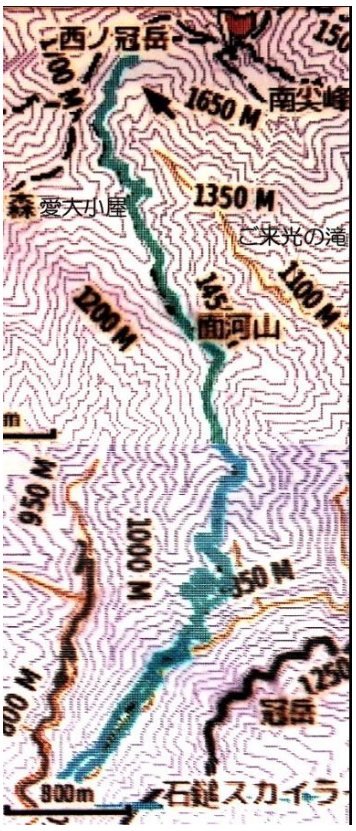
■日　程　202107/18 日　雨　　■場　所　愛媛県久万高原町
■目　的　初級の沢登りを体験して沢の基礎技術を習得する。
■参加者　7 名

■費　用　3290 円×4　490×2405.2×26　計 34510 ひとり 4930 円
コースタイム

善通寺事務所　500＝745 面河 P800→1130 愛大小屋前→1230　1720m→愛大小屋 1355→1645 面河 P＝2030 善通寺事務所

早起きして出発したが、カーのナビが,経路を 33 号経由から 494 号黒森峠経由に(松山 IC 内で)急に変更したため、川内 IC まで行って戻り時間を浪費した。道の駅天空の城さんさんで合流して、面河駐車場に到着。濁流ではないが水量はかなり多く、面河本谷沢登りは中止となり、面河尾根を登ることになった。クルマ回送の必要はなくなる。

しばらく川に沿って進んだのち山にはいり雨の中尾根に向かって登り始めた。蒸し暑いが稜線に出ると涼風。高度を稼ぎながら愛大避難小屋前に到着。小屋は立て替えられておりきれいだった。3 名が停滞し、4 名がご来光の滝への分岐路を探りつつのぼった。結局高度計 1720m付近で U ターン。石鎚山頂にかなり近くまで登ってしまい、滝への分岐は小屋付近が正解なようだ。雨はかなり強く降り。山腹を流れ下る滝をまたいで下った。愛大小屋で合流し面河まで下ると面河本谷は濁流で、どうしようもない感じになっていた。大雨警報-注意報が発令中であった。主力メンバーは再度出直す予定である。



沢入門感想

面河谷と御来光の滝

「沢入門初級の沢登り体験」と
いう山行案内に惹かれて準備会に参加してみましたが、「走行距離が長いルート」「帰りが遅れるとゲートが閉まる」「初心者は一人だけ」など不安なことがあり、初心者の私が参加できるのかとても心配になりました。でも経験したことのない沢登りに行ってみたい気持ちもあり参加させていただくことにしました。装備をそろえるうちにまだまだ不安はありすが、楽しみにもなってきました。

前日は雨、当日も曇り空で出発し到着すると小雨でした。面河渓谷は深いエメラルドグリーンの美しい河でした。リーダーの状況判断で入渓せずに面河尾根往復コースなりました。山道を河を観ながら進みましたが、こんなきれいな河の中を歩いてみたい気持ちが膨らみました。

山道は木々に囲まれ、岩には水滴をふくんだ鮮やかなグリーンの苔が生え、カエルやイモリが生息し、ひぐらしの鳴き声も心地よい自然豊かな絶景の見ごたえのある山道でした。

雨はやむことなく、水しぶきをあげる滝を何度も渡り全身びしょ濡れになりました。元々濡れる準備はしていたのですが、本心は初夏の日差しの中で沢を登り清流の水しぶきを浴びながの山行がしたかったです。

今回は沢登りのイメージトレーニングができたと思って、またの沢登り山行を楽しみに待つことにします。

定例山行報告

東赤石山 1706.2m

■日　程　　2021 年　7 月　22 日（祝・木）　晴れ
■場　所　　愛媛県　新居浜市
■目　的　　ここにしか自生しないオトメシャジンに会いに行く
■参加者　　7 名

■費　用　　走行距離　154ｋｍ　2750 円/人

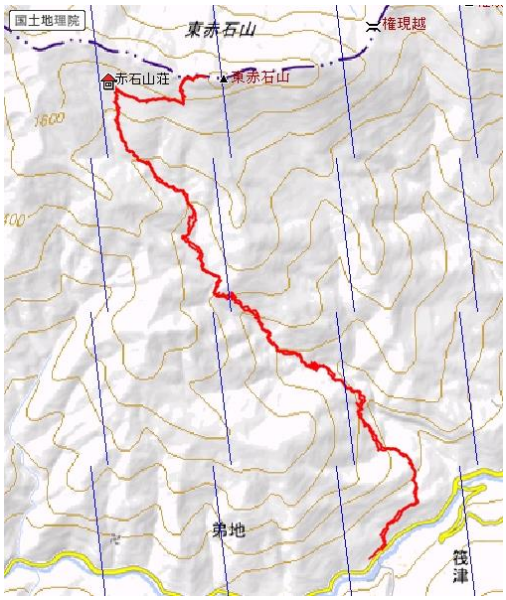
コースタイム

事務所 5：55＝＝（三島川之江 IC＝法皇トンネル）＝＝7：15 筏津登山口 7：35……8：55 瀬場分岐……12：00 赤石山荘 12：20……13：15 東赤石山頂……16：10 瀬場分岐……17：25 登山口 17：40＝＝＝19：05 事務所

花キチの M はもう何年もチャンスをうかがっていた。すると釣りキチの名匠がオトメシャジンを見に行く提案をしたという話が！

東赤石は知る人ぞ知る花の名山、なぜかというと地下のマントルが冷えて固まったカンラン岩・蛇紋岩という珍しい地質構造から、特有の植物相を見ることができるのである。しかし、今回の山行ではこの季節の植物すべてを見ることができたわけではなく、個人的には権現越や八巻山も周回したいところである。

登山は、計画では瀬場登山口からの予定だったが、すでに駐車スペースは無く、筏津登山口に何とか駐車した。瀬場谷の沢の音、滝の音、ハルゼミの鳴くのを聞きながらゆっくり高度を上げ、途中、沢釣り名匠 CL は、休憩場所をすてきな沢スポットで計画してくれていた。水の側は涼しく、木々の緑が麗しい。



渡渉地点の他に 5～6 回木の橋を渡った。危険箇所や道迷いしやすい場所もある。予定より 1 時間半遅いペースで赤石山荘に到着、噂通りの暑さだったが、早め早めで水分塩分補給してメンバー全員元気で、東赤石山頂に登頂した。

下りはヒグラシの鳴き音が疲れを癒し、沢の水が喉を潤してくれた（飲料としては自己責任です）。手強い山だったが無事下山、めでたし。

定例山行報告

L-Ⅱ講習　堂ケ森 1689m～石鎚山 1982m　縦走

■日　程　　2021 年　7 月　22 日（木）　晴れ
■場　所　　愛媛県　西条市
■目　的　　体力養成、読図、危険個所での対処、リーダーの仕事を理解する
■参加者　　7 名

■費　用　　走行距離　310ｋｍ　3,800 円/人

事務所 4:30＝7:20 土小屋(車ﾃﾞﾎﾟ)＝8:30 梅ケ市駐車場…9:00 出発…9:20 登山口…11:55 保井野分岐…12:10 堂ケ森…14:05 二ノ森…15:10 西の冠のコル…16:25 石鎚山への分岐…18:30 土小屋＝梅ケ市駐車場＝22:20 事務所

今回の山行目的は、L-Ⅱリーダー養成講習（体力養成、読図、危険個所での対処、リーダーの仕事を理解する）であった。入門者である私は資格が無いが、石鎚山縦走のとても魅力的なコースだったので希望して参加させて頂いた。

早朝に事務所を出発し、縦走のゴール予定である土小屋に車をデポしてから、梅ケ市駐車所に移動した後、少し林道を歩いてから登山口に到着した。

お天気は晴天であったものの、風があまり無くとても暑い状態で樹林帯の中をひたすら登る。歩き初めから、リーダーとしての留意点(ペース配分、メンバーの体調や現状確認、熱中症対策･･･)や読図についての講習が続いた。

最初のポイントの堂ケ森反射板に近づいたが、山行計画が石鎚スカイラインの閉門時間の関係でタイトであったため、リーダー判断で堂ケ森山頂はスルーすることとなり、そのまま二ノ森に向かった。

この辺りは、熊笹が広がっており、斜面から吹き上がる風があると、とても気持ち良かった。また、登山道も整備されていて歩き易かった。南西の風であったので、南側は雲も無く眼下には面河ダム周辺の山々が綺麗に一望出来て疲れも吹っ飛んでしまう。逆に稜線の北側は雲がわき上がり良い景色だ。

堂ケ森から一旦下ってから次の二ノ森を目指す。ただ直射日光が当たっているためか、標高 1500m でも気温は 30℃もあり、風が無いととても暑く水分補給が大切となった。壮大な景色を楽しみながら登り続け、ほぼ予定通りに二ノ森の頂上に到着した。

二ノ森頂上からは、遠方に石鎚山の勇姿が見え、その手前にはこれから向かう縦走路の稜線がくっきりと見え、感動するくらい壮観であった。

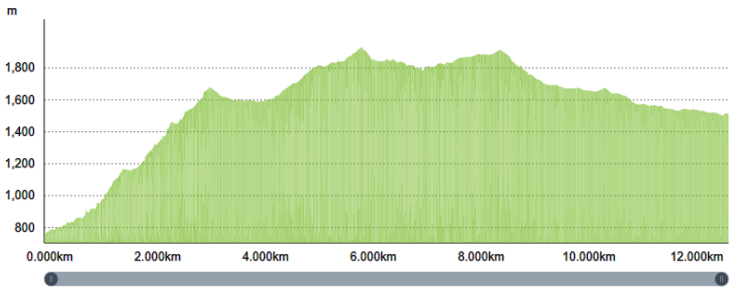
私は二ノ森からの石鎚山への縦走路も登山道は整備されていると勝手に思っていたが、予想に反して道幅も狭く熊笹で足下が見えない所や幅が殆ど無い危険個所も多く、加えてかなりの急降りや急登も数多く有り、リーダーやメンバーから歩行に関する留意点がひっきりなしに聞こえて来た。何とか西の冠の下まで到着すると石鎚山の山頂が更に近づき、他を圧倒するような荘厳な山容の迫力を強く感じた。

更に縦走路を進み石鎚山(弥山)への登山道に合流した時点で、土小屋の到着予想時間を考慮し、確実に今回のミッションを果たすため、石鎚山には行かずに土小屋へ移動することとなった。

土小屋への移動中に石鎚山北壁を見上げると、オーバーハングの岩場が見えた。北壁の一部で岩場の色が広い範囲で変わっており、大きな崩落があったように見え、現在も自然が躍動していることを強く感じた。

土小屋には 1 時間遅れで 18:30 頃に到着し、デポしていた車で、無事に出発地の梅ケ市駐車場まで戻った。

今回の山行は、行動時間が約 9.5 時間、累積上昇高度約 1400m、歩行距離約 13km と体力養成の目的も十分に果たすことが出来たと思われる。



定例山行報告

ちち山　１８５６ｍ

■日　程　　2021 年　７月　２５日（日）　晴れ時々曇り
■場　所　　愛媛県　西条市
■目　的　　定例山行で気持ちの良い稜線を歩く
■参加者　　7 名

■費　用　　走行距離　１７０ｋｍ　￥２７３０/人

事務所 6：００＝＝＝7：40 ちち山登山口７：５０……１１：１５笹ヶ峰、平家平分岐……１２：１５ちち山 12:40……１４：20 獅子舞いの庭１４；３５……16：０５登山口 16：２０……17：55 事務所

予定道り事務所 6 時出発トイレ休憩しながら大永山トンネル登山口に向かう
金砂湖からはほとんど対向車がない、登山口につき準備運動して出発
渓流沿い 30 分程歩いて衣服調整、水分補給　涼しい風が吹いてきて気持ちがいい

【　獅子舞の庭　】

ヒノキ林の中を歩くが木の根が露出していて歩きずらいが登山道は整備されている。
ハイキングしている様だが段々険しくなって来た獅子舞の庭に着きここで一休み。
ここは一帯が苔で覆われで大変心が癒される。
ブナ林に山ボーシが咲き誇り残念だが夏ツバキは花びら沢山落ちているが終わっていた。
稜線に出て天気は曇り時々晴れ気持ちがいい
風が吹くが気を抜けない、右側は崖だがしっかりした登山道が付いている。ブナ林を抜けると笹原が広がり視界が広がり絶景だ。

笹ヶ峰と平家平の分岐で休憩、数人の登山者に会う。前方に笹ヶ峰が見える、ちち山はもう少しだが登山道が見つからず地図で確認、ちち山の分岐点から急道で直登だ。両サイドの笹を掴みながらでないと登れない。笹原はこめつつじの群生地だが花は終わっていた。
分岐点から 30 分程で山頂に着いたが 8 名の若者の先

客がいて食事をしていた、山の食事では豪華な食事だ。私たち食事と内容が違う。

私たちは良くてもコンビニ弁当だ？

頂上で昼食... しばらくパティシエがケーキを作っているのを眺めていた。

食後ケーキを食べていたが貴方もどうぞと言はなかった。

【パティシエ作品】

20～30 分程すると雲行きが悪くなり雲が湧いて来たので下山開始。

ガスが出て来て下界が見えなくなった。

笹ヶ峰と平家平の分岐点で休憩していると8 人グループに会い彼らは平家平方面に行くのでここでお別れし登山口目指して下山開始、ガスが出て来て下界が見えなくなって来た。

獅子舞の庭の手前で午後 2 時頃の何とかで... トラブル発生、ここでしばらく休憩気を引き締め登山口目指して下山、トラブルが有ったが天気やいい会員に恵まれ大変楽しい 1 日だった。

プロ山岳ガイドに学ぶ安全登山のための基礎講座 Enjoy 登山学校座学報告

天気の基礎知識（山の天気と里の天気の違い）

■日　程　　2021 年　7 月　14 日（水）　19：30～21：00
■場　所　　善通寺市民会館 2F 中会議室
■参加者　　17 名
　　受講生：10 名

Enjoy 座学第 4 回目は、「天気の基礎知識（山の天気と里の天気の違い)」と題し、7 月 14 日（水）にプロ山岳ガイドの講師を迎え、善通寺市民会館 2F 中会議室で行われた。その一部始終を記すことはできないが、一部紹介を試みてみよう。

気象現象は、地表と成層圏の間（対流圏）で起こる。成層圏の大気は、非常に薄いため雲はできない。成層圏までの高さは、日本付近だと約 10km である。

最盛期の積乱雲は、発達すると、巻雲を伴い、頭が水平方向に広がる。この状態が危険で、上昇流と下降流が発生するため、氷晶同士が　ぶつかって静電気が発生し、雷を作る。継続時間は、15 分～30 分程度である。

これは、積乱雲が成層圏に到達した証で、地上から 10km の高さにある雲は、上層の大気に流されて移動する。夏場は、上層の風が弱くなるため、積乱雲の動きも遅くなる。上層の風向きを知るためには、500hPa の高層天気図を活用する。上層の風は、等高度線と平行に吹く。

落雷は、積乱雲の大きさである 5km～10km の範囲で起こる。閃光が見えて雷鳴が聞こえない場合の積乱雲までの距離は、40 ㎞～50km である。閃光が見えたら、積乱雲と現在地との位置関係を確認し、高層天気図による進行方向を加味して、山小屋や避難小屋への退避行動をとる。もし、ない場合は、山頂、尾根、岩場、平坦地を避け、できるだけ低い場所へ移動し、退避姿勢をとる。

単独の積乱雲ならば、雷鳴が聞こえはじめて、30 分程度で、雷はおさまり雨だけが残る衰弱期に入る。その後、20 分程度で雨もやむ。雷に打たれると高い確率で死に至る。雷予想の出された山域へは、立ち入らないことが望ましい。

教育山行報告

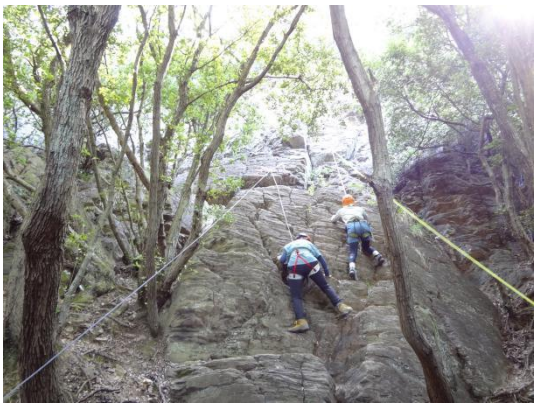
Enjoy 登山学校　大屋冨の岩場

■日　時　　2021 年 7 月 25 日（日）晴
■場　所　　香川県坂出市大屋冨町
■目　的　　危険箇所を安全に歩く方法・ツエルトの張り方
■参加者　　11 名
　　受講生：6 名

林田ハローズ集合 7:30===駐車場……8:30 オレンジヒュッテ 14:30……駐車場===15:20 林田ハローズ

林田ハローズに集合して、乗り合わして岩場の駐車場に移動する。そこから 30 分ほど歩いて今日の実技の場にあるオレンジヒュッテに着く。ここは木が生い茂り夏の太陽が照り付けないのでとても涼しい。ヘルメットとハーネスを装着して、小屋の裏で岩場の歩き方の実技を行いました。

最初に自然の岩場なので、落石の危険や転落に気を付けるよう注意がありました。ロープを付けて登り、ロワーダウンの練習を繰り返しました。大事なことは、三点支持で登ることで、両手両足の 4 点のうち 1 点づつ動かして登ります。足を使って登り、片足に重心を移動しながら登ります。なるべく膝までのスタンツを探して、つま先で立って登りますが踵は下げ気味で登ると良いとの事。何回か繰り返すと動きもスムーズになりより細かいホールドで登る練習もしました。



午後からは FIX を張り実際に危険箇所の歩行訓練をしました。カラビナ 2 枚で FIX を通過することを実践して、最後はロープで確保して下山しました。またツエルトの張り方の講習もして今日の実技を終了としました。

ヤングメンバーズクラブ活動報告

小橋滝、龍王滝偵察

■日　程　　2021 年　6 月　27 日（日）　曇り
■場　所　　香川県仲多度郡まんのう町
■目　的　　小橋滝と龍王滝を偵察しながら、他会との交流を楽しむ
■参加者　　6 名　丸亀しわく山の会、観音寺あけぼの山の会、さぬき山歩会、善通寺山の会

ファミリーマートまんのう町造田店 11：00＝＝11：30 八峯園地駐車場…11：45 小橋滝展望台（小橋滝偵察後、昼食）…13：30 龍王滝偵察隊出発…14：00 展望台・撤収解散

梅雨真っただ中の 6 月の最終日曜日、大滝大川県立自然公園八峯園地小橋滝展望台において、ヤングメンバーズクラブの交流会を行いました。今回は、ついでに八峯川にかかる滝を偵察するとのことで、昨年 12 月に行った結成山行のとりつきの偵察の際、同行してくださった偵察好きの O さんと 2 人で善通寺山の会代表として参加してきました。

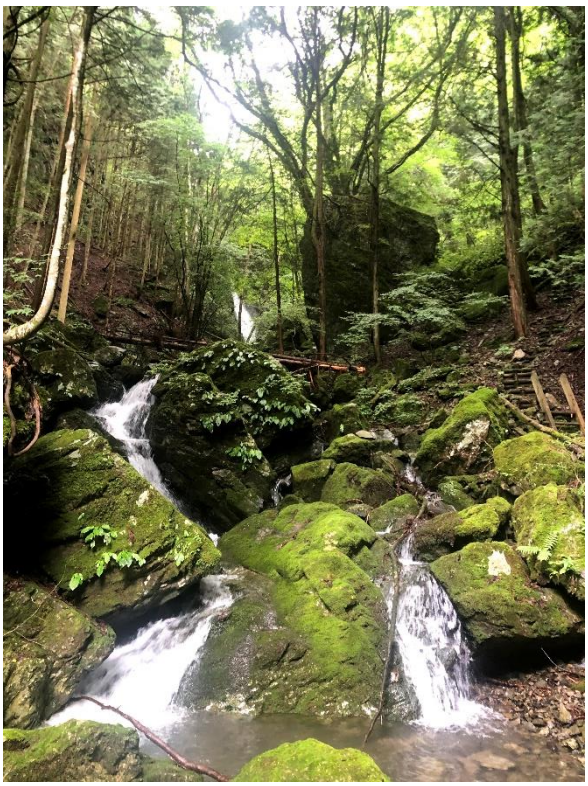
ファミリーマートまんのう町造田店に集合。国道 438 号線を南下し、谷川米穀店付近の交差点を西に入り、しばらくして四ツ足堂方面の横道を進んで、車 1 台がやっと通れる八峯川沿いのなだらかな上りの道を私の車を先頭に、3 台でゆっくり走っていると、中ほどで、対向車が見えました。私たちは、コンパクトカーとか軽とかで小っさいのですが、下ってきた対向車はミニバンで大っきくて小回りがきかないのに、かわいそうでしたが、対向車は 1 台で、こちらが上り優先で 3 台連れなので、ほとんどの車がマニュアルだった時代の名残と考えられる交通マナーに従い、皆オートマですが、ほぼ平坦な上り坂をミニバンにかなりの距離バックで戻ってもらうことにしました。

すると、4 台ノロノロ運転なので、道すがら、逃げることなく、メスキジがヒナ数羽を連れ、カルガモのような感じでかわいく移動しているのを見かけ、ほんわかすることができました。先頭の我々だけが、見たのかなと思っていると、駐車場に着いたとたん、一番最後を走っていた I さんもキジの親子がいたと興奮していたので、皆見ることができたのだと思います。が、対向車はそれどころではなかったと思われるので悪いことをしました。ほぼ、駐車場まできたところで、やっと広くなったので、対向車に感謝を述

べ、ついに、駐車場に着きました。

調理キットをワゴンに載せ、遊歩道を 15 分ほど歩くと、ユキノシタが満開の小橋滝展望台に着きました。さっそく、和泉層を流れる、二条の小橋滝を眺め、ルートは数本とれそうだなと皆で話し合いました。壁には、イワタバコがたくさん生えていました。

お昼がきたので、次の滝に向かう前に、腹が減っては戦ができぬと、料理にとりかかり、アヒージョ、シュラスコなど、ここは日本なのかと見紛うほど多国籍な食事を楽しみました。おなか一杯になったところで、いざ、上流の龍王滝偵察となりしましたが、片付けが後回しになるので、O さんが展望台での留守番を買って出てくれました。



ではないと結論づけました。

サワガニと戯れながら、遊歩道を戻り、O さんと合流して、交流会場の撤収をして、流れ解散となりました。とても楽しかったので、会を横断して、交流を行うことも山登りにおいては、非常に重要なことであるのだなあと肌で感じることができました。

今後とも他会との交流を深めたいです。

展望台から、さらに 10 分ほど、遊歩道を進むと、轟音を響かせる一条の龍王滝が現れました。登りがいのありそうな立派な滝で、こちらも数本ルートがとれそうでしたが、そのスピリチュアルな雰囲気に圧倒され、県立公園の看板に名前はないものの地元では、龍王滝と呼ばれているくらいだから、信仰の滝であろうということになり、命名した先人に敬意を込め、滝行はアリだが、沢ヤが攀じる滝

ヤングメンバーズクラブ活動報告

吉野川源流（白猪谷）

■日　程　　2021 年　7 月　11 日（日）　晴れ
■場　所　　高知県吾川郡いの町
■目　的　　日帰り沢登り
■参加者　　8 名　さぬき山歩会、善通寺山の会

ハローズ円座店 5：00…8：00 源流橋・8：35 入渓…11：10 登山道合流点（昼食後出渓）
12：05…12：45 源流橋 13：00＝（温泉）＝17：00 ハローズ円座店（反省会後解散）

ヤングメンバーの他会の山行でレベルアップ第 1 弾として、同一日に観音寺あけぼの山の会の床鍋谷に丸亀しわく山の会の O さん、さぬき山歩会の吉野川源流（白猪谷）に善通寺山の会の K が参加しました。

快く他会の若手の参加を受け入れてくださった、CL に感謝です。予定時刻ドンピシャの 8：00 に源流橋に到着し、左岸から入渓しました。流木・倒木が多く、景観を損なっていたのが残念ですが、沢の水はエメラルドグリーンでとても美しかったです。

ほどなくして、メンバーのウェディングシューズのソールが剥がれたので、図らずも草鞋派の私が予備の草鞋を持っていたので、上からつけてもらったうえで、敗退という苦渋の決断を行いました。すでに釜を泳いで突破していたので、同ルート下降は、危険と判断し、右岸から延びる登山道から下山する戦略をとることにしました。

私は、手ごわそうな滝が出現すると、先行してへつらせてもらいましたが、どの釜も後続には、敗退中なのでスピードアップが必要となるため、確保して一人ずつ泳いでもらいました。登山道に合流する手前の滝は、山歩会が誇るツートップ、T さんと I さんが泳いで突破し、ロープを張ってくれました。ここまでへつり一辺倒で泳いでいなかった私は、最後だから泳ごうかなと思っていたのですが、泳いで突破しているソールの剥がれたメンバーのフォローで、そんな余裕はなく、少し上をへつっていると、そのまま、上から滝取りつきに飛び降りられそうだったので、ついジャンプしてしまい、またもや泳ぎ損ねてしまい

ました。リベンジとして 8 月 7 日のヤングメンバーズクラブで企画の財田川源流では、思い切り泳いでやろうと思います。

結果、日の当たるところで昼食をとる際、皆寒いと震えていたのに、私のみ灼熱の昼ご飯となりました。休憩中、最後の釜で、8 寸ほどのイワナを手づかみでゲットし、ジップロックに入れて持ってきていたので、I さんがナイフで内蔵を取り出してくれました。すると、赤いイクラがお腹の中から出てきたので、少しかわいそうな気がしました。学生時代に、秋の利根川や黒部川で爆釣したことがありましたが、イクラは、どれも黄色かったので、不思議に思いましたが、そもそも、四国に生息しない逸出したであろうイワナであるので、食べ物なども関係して、赤いのだろうと思いました。

登山道もかなり荒れていましたが、思ったより早く 40 分で下ることができたので、同ルート下降しなくて正解だったと思いました。今回、白猪谷を敗退したので、8 月 22 日に同じ舞台で行われる四国ブロックの交流沢登りでのリベンジを誓っていましたが、新型コロナウイルスの猛威により、2 年連続、四ブロが中止となり、それも叶わなくなりました。

私の年齢では、まだワクチンの予約ができないため、急に予定が空いてしまったなと静観していましたが、希望している職域接種の日程に、その日も含まれていたので連絡が来たら沢登りの代わりにワクチンを打ちに行こうかなと思っています。ファイザーのワクチンが足りないらしいので、中止になるかもしれないと担当に言われているのでそれも微妙です。

今回、他会の山行に参加して感じたことは、CL のリーダーシップが非常に重要であるということです。ソールが剥がれるメンバーが出て、ピンチに陥ったにもかかわらず、初心者を含むパーティー全体を安全に下山させたことからは、大いに学ぶものがありました。現状では敵いませんが、私もリーダーシップの発揮できるリーダーにならなければならないと強く意識させられました。

ヤングメンバーズクラブ活動報告

七宝の岩場

■日　程　　2021 年　7 月　18 日（日）　曇りのち雨
■場　所　　香川県観音寺市高屋町
■目　的　　RCT（ロッククライミングトレーニング）
■参加者　　9 名　観音寺あけぼの山の会、丸亀しわく山の会、さぬき山歩会、山岳同人五色の峰、善通寺山の会

高屋神社下宮 8：00…8：30 七宝の岩場 11：45…12：10 高屋神社下宮＝＝＝
12：30 父母ヶ浜（昼食後解散）

ヤングメンバーの他会の山行でレベルアップ第 2 弾（床鍋谷、白猪谷に続く通算 3 回目）、地元の観音寺あけぼの山の会の七宝の岩場の岩トレに参加しました。当日は、ヤングメンバーズクラブ副代表の CL と講師としてお迎えした丸亀しわく山の会の N さんが岩登りの指導をしてくださいました。しわく 4 名、あけぼの 2 名、五色 1 名、山歩会 1 名、善通寺 1 名の総勢 9 名の参加があり、とても賑やかでした。

その日は、元々、あけぼのの H さんがホームゲレンデの七宝の岩場で岩トレを行う

ことになっていて、事前に中止になった同日のしわくの定例山行の小足谷川に参加するつもりであったヤングメンバーたちも、沢から岩へ活動のフィールドを移し、参加させてもらい、参加者が多くなった感じです。

午後から天気が崩れそうだったので、天気のいい時間に早めに取りついて少しでも訓練を行おうということで、先発隊 5 名が足早に高屋神社下宮から一路七宝の岩場を目指しました。私は、先発隊を見送った後、遠方から来ているため、集合時間にほんの少し遅れた 3 名のメンバーの到着を待ち、後発隊の一員としてアプローチしました。

深夜にけっこうな勢いで雨が降ったので、岩場が濡れていないか心配しましたが、南向きのため、乾きが早くて、それほど気になりませんでした。訓練中には、真夏の日差しが照り付け岩が乾いていくのを目の当たりにしました。ルートも素晴らしく、景色もよく、天空のゲレンデと言いたいほどでした。また、岩場には、シダマニアの私が喜ぶ貴重なシダが群生しており、そこをタマムシがホバリングするなど、シチュエーションがサイコーで天国に来た気分でノリノリでした。

収穫は、岩登り初心者のメンバー全員が、ビレーや懸垂下降の手順をしっかり覚えてくれたことです。一生懸命学んでいる姿に傍から見ていて感動すら覚えました。そろそろ、昼休憩にしようかなと思ったところで、小雨が降りだし、雨ガッパを着て、訓練を続けましたが、大降りになるのは、時間の問題なので、潔く撤収し、下山することにしました。

登山道を戻り、視察に訪れた大井代表と合流して、和気藹藹と下山しました。帰りに父母ヶ浜のカフェで昼食にハンバーガーを食べました。ビーチがよく見えてきれいでしたが、途中から大降りの雨が降っているのが、窓越しに確認できたので、訓練を早めにやめたのは、正解だったと思いました。

個人山行報告

高妻山＋戸隠山 2353m

■日　程　　2021 年 7 月 23 日（金）～24 日（土）
■場　所　　長野県長野市　　高妻山・戸隠山
■目　的　　百名山の一つを踏破する
■参加者　　1 名
■費　用　　走行距離　：　760ｋｍ×２＝1,520ｋｍ
　　高速代　　：　約 1.5 万円　×２＝約 3 万円

7 月 23 日　晴れ
琴平自宅出発　7:00＝若狭舞鶴自動車道・北陸自動車道経由＝16:30　戸隠キャンプ場駐車場着

昨年からの with コロナでの 3 回目の単独遠征登山となります。当初 6 時出発の予定でしたが、早く着きそうだったので、1 時間遅く 7 時に出発しました。片道約 750ｋｍの単独運転でしたが、若狭・舞鶴自動車道は順調に流れ、予定通り 16 時半に駐車場に到着しました。約 60 台止められるところに、20 台余りが止まっていました。この山はほとんど日帰りのため、夕方になるとすいてきます。遅出発の人たちが下山して帰っていくと、物好きの車中泊登山者がぼちぼち集まってきます。　近くにはオートキャンプ場があり、たくさんの家族れでにぎわっていました。

一式で 5000 円とのことですが、川で水遊びもできるようになっており、人気のスポットとなっていました。

私の方は毎度のイモ焼酎の湯割りとつまみ、仕上げがミニヌードルで 19 時ころには就寝となりました。標高が 1200ｍほどあり、快適に眠ることができました。

7 月 24 日　曇りのち晴れ
1:20 起床　2:10……5:20　八方睨……　5:40　戸隠山頂　……7:30　一不動避難小屋 7:45　……11:00 高妻山山頂　……　13:00 弥勒　……　弥勒尾根ルート　……14:30 牧場　……　15:00　駐車場着　＝＝　16:30　妙高温泉宿着

当初予定は 4 時起床、5 時出発としていましたが、1 時に目が覚め眠れなく、起きてしまった。

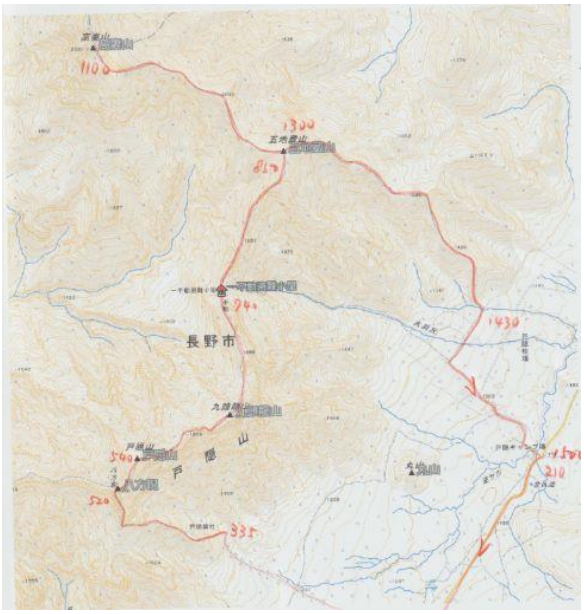
3 時間が空白になったので、戸隠山に足を伸ばそうと考えました。夜間は熊が怖いのでザックに鈴を付けて、車道を歩いていくこととしました。戸隠神社奥社を過ぎ少し上ると、夜が明けてきて岩稜が見えてきました。蟻の門渡りという難所が載っていましたが、それまでも鎖場の連続で、戸隠山を追加したことを後悔しましたが、引き返すこともできず慎重に進みました。山頂からはこれから行く高妻山がきれいに見えました。

戸隠山を過ぎてもアップダウンの連続で、疲労が蓄積していきましたが、一不動避難小屋には当初予定の 7:30 過ぎに到着しました。簡易トイレブースがあったので、初めて使用してみましたが、意外にスムーズに利用できました。登山口駐車場横のトイレに回収 BOX が設置されており、無事回収してもらいました。

高妻山には予定より 30 分遅れの 11:00 に到着しましたが、生憎霧の中で回りの景色は全然見えませんでした。

下山ルートは新しく設置された弥勒尾根ルートを選定しました。こちらはアップダウンがほとんどなく、予定通りの 15:00 に登山口に到着しました。

そのままその日に帰ってくることを計画していましたが、ＳＡでの仮眠も暑すぎて難しそうなので、宿を予約し 1 泊してから帰着となりました。



7 月 25 日　晴れ
妙高高原宿出発 7:10＝＝　若狭舞鶴自動車道・北陸自動車道経由＝16:20 自宅着

個人山行報告

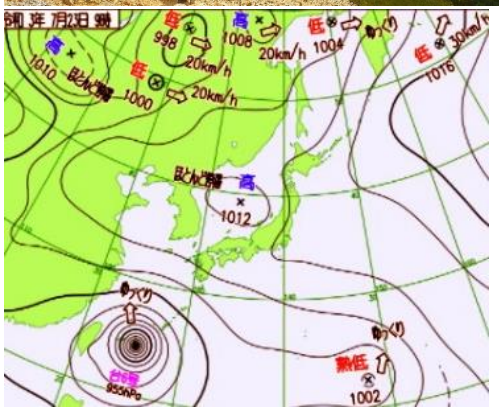
北アルプス表銀座

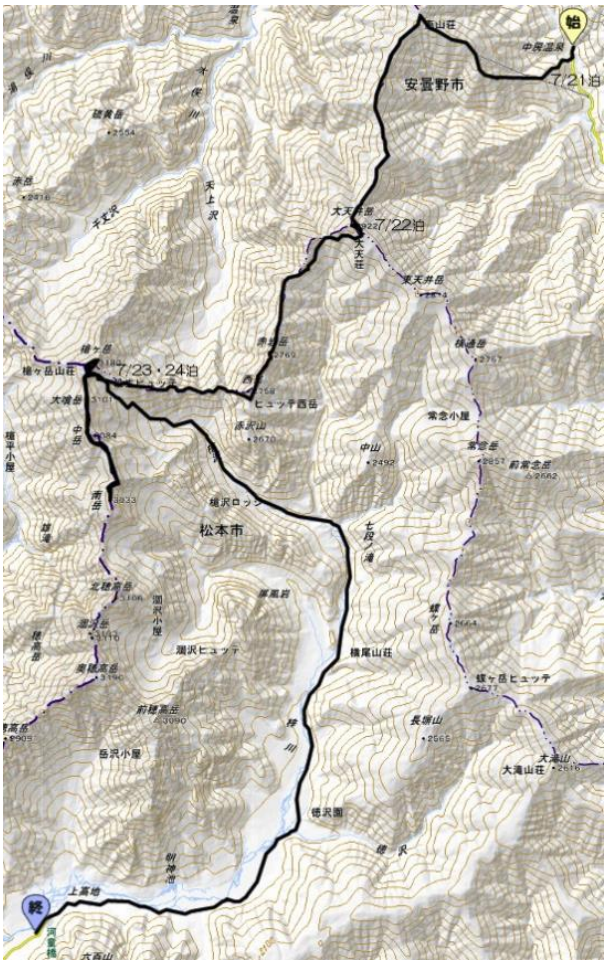
■日　程　2021 年　7/21 水-7/25 日　晴れ+午後雷雨
■場　所　長野県安曇野市　大町市　松本市　岐阜県高山市
■目　的　夏の北アルプスを楽しむ
■参加者　4 名
■費　用　交通費約 5 万　宿泊費約 5 万　1 人計約 10 万

7/21 水　善通寺 845++岡山++名古屋++松本++1438 穂高=1545 中房温泉　夕方雷雨
7/22 木　晴れ　中房温泉 510→825 合戦小屋→1000 燕山荘→1400 大天荘大天井岳　泊

普通の時間に起床, JR で松本へ, 埼玉行田チ-ムと合流. 大糸線で穂高駅へ, バスで中房温泉へ。強い雷雨になり露天風呂は堪能できなかった模様。

翌朝は朝食の弁当をもって出発。よく整備された急登を登る。合戦小屋では定石通りスイカを食べる。燕岳山頂に寄らず喜作新道から直接大天井岳をめざす。喜作レリ-フからは急登で大

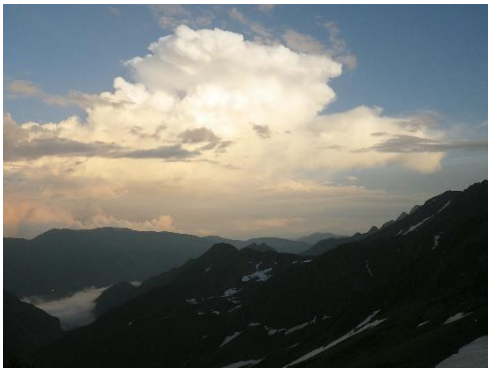




天荘に到着。気象通報では石垣島付近に 955hP の台風 6 号が停滞。当初の予想はこれが動き連休は悪天とされていた。

7/23 金　晴れ　大天荘 500→900 ヒュッテ西岳→1110 水俣乗越→1405 殺生ヒュッテ泊

大天荘の朝食は早く,5 時に出発することができた。大天井ヒュッテまで下り,朝日を浴びる北鎌尾根を横目にヒュッテ西岳へ,ここから先は落石が多いのでヘルメットをかぶる。水俣乗越まで下り東鎌尾根を登り始める。はしごが多い。ヒュッテ大槍をへてかなり疲れて殺生ヒュッテに到着。そのまま槍をねらう案もあったが,じきに夕立ちになり行かなくて正解だった。夕食後夕日を浴びてかなとこ雲が輝く。



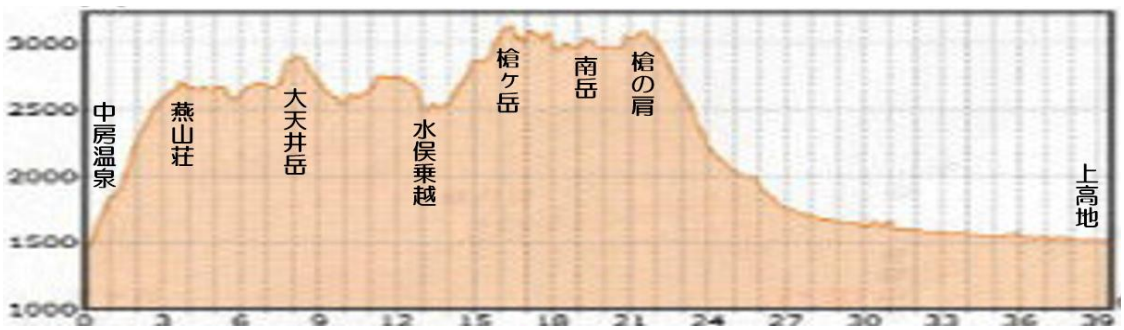
7/25 土 晴れ曇り 殺生ヒュッテ 545→730 槍ヶ岳→1120 南岳→1500 殺生ヒュッテ泊

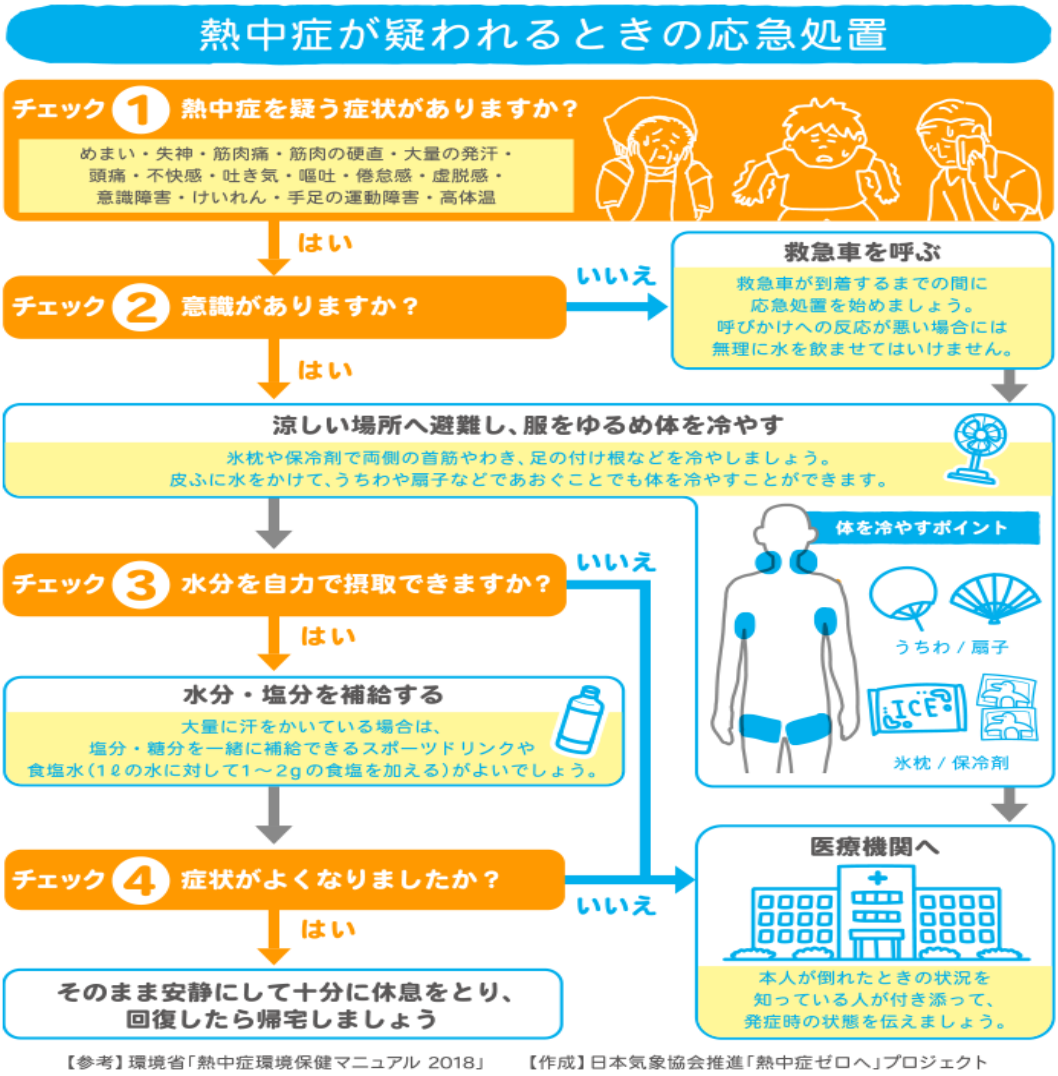
東鎌尾根から槍へ,早朝ラッシュは過ぎていたため,渋滞なく槍の穂を登れた。裏銀座-西鎌尾根がよく見える。肩で休憩後大喰(おおばみ)岳中岳と進む。雪渓が残り岩山やはしごが多い。雲が増えてきたため,にわか雨が気になる。南岳まで来てすぐにUターン。大喰岳までもどると槍と肩の小屋とテン場が威容を誇って迫る。槍登頂を確実(3 チャンス)にするための殺生ヒュッテ連泊作戦で,2 泊目の夕食メニューは我々だけ変えてくれていた。

7/26 日 曇り晴れ 殺生ヒュッテ 530→830 槍沢ロッジ→1045 横尾→1355 上高地＝新島々++松本 1650 ++名古屋++岡山++2226 善通寺

朝食後まっすぐ下山開始。ガスの隙間から見える槍に名残をおしむ。播隆窟などを見て,横尾でスタミナ丼の昼食。上高地でバスに乗車,新島々から電車,松本駅でJR 指定券を早い列車に変えて善通寺に戻った。

朝晩を除き山も暑い。暑いと文句をたれるのは最低で,世界各地にはまだまだ涼しいところがあるはず。冷房や低温が苦手な人とは縁を切って移動しなければ。それまでは電気代を惜しまず冷暖房温度設定も下げよう。体力低下も著しい。加齢のため週 2 のボッカ程度ではどうにもならない。維持や向上はあきらめ,体力･技術･頭脳の低下を織り込んだ山の楽しみ方を考えなくては。





【参考】環境省「熱中症環境保健マニュアル 2018」　【作成】日本気象協会推進「熱中症ゼロへ」プロジェクト

応急処置でたいせつな３つのポイント

●ポイント１：涼しい場所へ移動しましょう

まずはクーラーが効いた室内や車内に移動しましょう。

屋外で、近くにそのような場所がない場合には、風通りのよい日かげに移動し安静にしましょう。

●ポイント２：衣服を脱がし、体を冷やして体温を下げましょう

衣服をゆるめて、体の熱を放出しましょう。氷枕や保冷剤で両側の首筋やわき、足の付け根などを冷やします。皮ふに水をかけて、うちわや扇子などであおぐことでも体を冷やすことができます。うちわなどがない場合はタオルや厚紙などであおいで、風を起こしましょう。

●ポイント３：塩分や水分を補給しましょう

できれば水分と塩分を同時に補給できる、スポーツドリンクなどを飲ませましょう。

おう吐の症状が出ていたり意識がない場合は、誤って水分が気道に入る危険性があるので、むりやり水分を飲ませることはやめましょう。

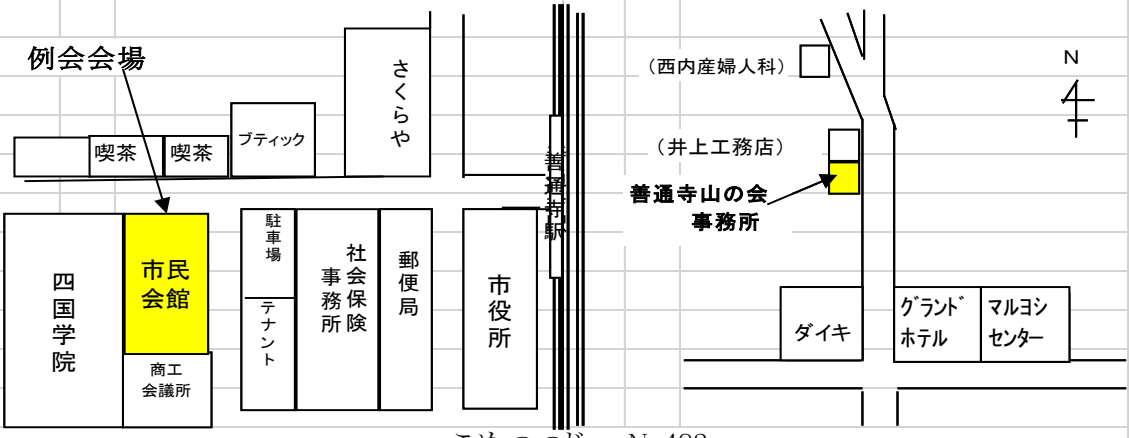
救急車を待っているあいだにも、現場で応急処置をすることで症状の悪化を防ぐことができます。

（一般財団法人日本気象協会が推進する「熱中症ゼロへ」プロジェクトより）

8月			9月		
1	日	岩：石鎚北壁・塔の丸	1	水	
2	月		2	木	例会
3	火	会報部会	3	金	
4	水	登山教室座学	4	土	
5	木	例会	5	日	那岐山
6	金		6	月	
7	土		7	火	
8	日	新九郎山	8	水	事務局会議・登山教室座学
9	月	岩トレ5・皇子渓谷準備会	9	木	
10	火		10	金	
11	水	事務局会議・筒上山準備会	11	土	
12	木		12	日	奥槍戸山の家・遭難を考える集い
13	金		13	月	
14	土		14	火	
15	日	沢四ツ小屋谷	15	水	
16	月	三嶺～剣準備会・雲ノ平準備会	16	木	運営委員会
17	火	山行部会	17	金	
18	水		18	土	L槍ヶ岳～奥穂高岳
19	木	運営委員会	19	日	
20	金		20	月	
21	土	8/22奥槍戸山の家準備会	21	火	山行部会
22	日	筒上山・登山教室剣山～丸石	22	水	
23	月	8/22原稿締切	23	木	岩トレ6
24	火		24	金	
25	水	那岐山準備会	25	土	
26	木		26	日	原稿締切・中国四国の山
27	金		27	月	個人　雲ノ平
28	土	L沢皇子渓谷・三嶺～剣山	28	火	
29	日		29	水	
30	月		30	木	
31	火	会報部会			

◆月会費:1，100円◆申し込み・問い合わせ先　☎(0877)22-0036　佐藤孝雄

◆山の会ホームページ　http://z-yamanokai.kwaf.jp



こめつつじ　No482

発　行:善通寺山の会　会報部	発行日:2021/8/3
住　所:香川県善通寺市下吉田町143-1	ＴＥＬ:(0877)62－9965
発行人:村上誠美	編集責任者:村上しのぶ